



クラブスローガン
縁を大切に、
息を交わし合う大切さを



国際ロータリー第2630地区 岐阜 Aグループ
岐阜中ロータリークラブ

Weekly Report

2017-18 RI テーマ
ロータリー：変化をもたらす

平成 30 年 4 月 24 日(火)

第 1276 回例会 第 1193 号

会 長 渡 辺 成 洋
幹 事 田 中 稔
発 行 公共イメージ委員会
例 会 火曜日 12 時 30 分
会 場 岐阜都ホテル
事務局 岐阜市神田町 2-2
電 話 058-264-9235

必達！！第 1 例会出席率 100%

必達！！年間例会出席率 90%

会 長 挨 拶

会長 渡辺成洋



皆さん、こんにちは。本日は職業奉仕委員会の企画で、株式会社大野ナイフ製作所さんを訪問させていただきました。ものづくりの現場は、やはり感動があります。久しぶりのこのような会社訪問もいいもんだなあと感じました。

昼食も久しぶりの辻屋さんの鰻です。皆さんには鰻を堪能していただきたいと思います。



委 員 会 報 告

職業奉仕委員会 委員長 森 益男

本年度の職業奉仕委員会の大きな事業である「職場例会」は、関市の中堅優良企業である株式会社大野ナイフ製作所を訪問。参加会員一同、大野社長の企業理念、世界を視野に入れた戦略や展開、また、その目標に向かって社員一丸となって働く情熱・・・等々に大きな刺激を受けるとともに、自らの企業へのフィードバックとしても示唆に富んだ例会になったと確信した。

4 月 17 日午前 10 時 50 分、会員 15 名が、大野ナイフ製作所の本社 2 階に集合。大野社長自らの説明を聞きながら、まるで美術品のように美しいナイフや包丁を鑑賞（?!）。引き続き、創業から現在に至る沿革や「世界一の包丁づくり」を目指す機構改革や人材育成への取り組み等のお話を創業 100 年を記念し制作されたビデオを観ながら 30 分ほど拝聴させていただいた。

特に大野社長のお話で力説されていたこと、それは、「変化への対応」

ということだった。『老舗料理屋さんが昔からの伝統の味を守り、今もお客様の舌を満足させている・・・』といった話をよく聞くが、そんなことはあり得ない。時とともに変化するお客様の満足感を満たすためには、常に料理屋としても研究を続けているはずである。変化に対応している企業だけが成長できると信じている』ということだった。

その後、工場内を揃って見学。90 を超える工程に取り組む社員さんたちに、若者たちが多いのにも驚かされた。さすがは「岐阜の若者が選ぶ魅力的な会社 100 選」に選ばれた企業だと実感する。手作業の工程とロボットが導入された工場内は、技術の伝承と作業の合理化が図られた近代的なシステムが整備されており、感銘をうけた。

その後、関の鰻料理の老舗「辻屋さん」にて会食。全員が大満足ではあったが、ふと、大野社長の“老舗企業の話”が思い起される瞬間でもあった。（文中一部敬称略）

前 例 会 の 記 録

第 1 2 7 5 回

平成 3 0 年 4 月 1 7 日(火)

〔点鐘〕 1 1 時 0 0 分

〔ソング〕

〔ゲスト〕

〔ビクター〕

〔出席〕会員総数 27 名（出席免除 2 名）

本日出席 15 名 60.00%

〔行事〕職場例会

株式会社大野ナイフ製作所

担当 職業奉仕委員会

次 回 予 定

第 1 2 7 7 回

平成 3 0 年 5 月 8 日(火)

〔点鐘〕 1 2 時 3 0 分

〔行事〕卓話『ロータリーにおける青少年奉仕の役割』

青少年奉仕委員会

委員長 故金正司

担当 青少年奉仕委員会

PI 委員長のつぶやき

今日の例会では、関市の株式会社大野ナيف製作所を訪問しました。まず、社長様はじめ社員の皆さんのおもてなしの姿勢に感銘を受けました。

大野ナيفさんでは、包丁の製造に 90 もの工程があり、社員の皆さんが、それぞれの持ち場で役割を果たし、次の工程にナيفを送っていく姿が、駅伝のタスキをつないでいく姿と重な

って見えました。

若い社員さんも多く、とても魅力的な職場だなあと感じました。見学後の昼食も含めてとてもよい例会だったと思います。

